

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公開番号】特開2006-265530(P2006-265530A)

【公開日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-039

【出願番号】特願2006-30556(P2006-30556)

【国際特許分類】

C 09 D 183/04	(2006.01)
G 02 B 1/11	(2006.01)
G 02 B 1/10	(2006.01)
G 02 B 5/22	(2006.01)
C 09 D 183/08	(2006.01)
C 09 D 183/02	(2006.01)
C 09 D 201/00	(2006.01)
C 09 D 7/12	(2006.01)

【F I】

C 09 D 183/04	
G 02 B 1/10	A
G 02 B 1/10	Z
G 02 B 5/22	
C 09 D 183/08	
C 09 D 183/02	
C 09 D 201/00	
C 09 D 7/12	

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月6日(2009.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(I) 下記一般式(1)～(3)で表されるシラン化合物から選ばれる2種類以上からなる共重合体と、(II)反応性基を有したポリマーと、(III)反応性基を有した無機微粒子を含むコーティング材料。

$R^1 Si(R^2)_a X_3 - a$ (1)

(R^1 は炭素数3～10のフッ素を有する有機基を表す。 R^2 は炭素数1～5の炭化水素基を表す。 X は加水分解性基であり、 a は0または1である。)

$R^3 Si(R^4)_b Y_3 - b$ (2)

(R^3 、 R^4 は各々アルキル基、アルケニル基、アリール基、エポキシ基、グリシドキシ基、アミノ基、メタクリルオキシ基、シアノ基を有する炭化水素基、水素原子から選ばれ、同じでも異なっていてもよい。 Y は加水分解性基であり、 b は0または1である。)

$Si(OR^5)_4$ (3)

(R^5 は炭素数1～3のアルキル基を表す。)

【請求項2】

(I)の共重合体が一般式(1)および(2)で表されるシラン化合物を有する請求項1

記載のコーティング材料。

【請求項 3】

(III) の反応性基を有した無機微粒子の反応性基が熱重合性および / または光重合性であり、かつ、(II) の反応性基を有したポリマー反応性基が熱重合性および / または光重合性である請求項 1 または 2 記載のコーティング材料。

【請求項 4】

(III) の反応性基を有した無機微粒子が、内部が多孔質および / または空洞を有するシリカである請求項 1 ~ 3 のいずれか記載のコーティング材料

【請求項 5】

さらに大気圧における沸点が 100 未満の有機溶媒と、100 以上 150 未満の有機溶媒が各々少なくとも 1 種類ずつ含まれている請求項 1 ~ 4 のいずれか記載のコーティング材料。

【請求項 6】

メチルイソブチルケトンが含まれている請求項 5 記載のコーティング材料。

【請求項 7】

硬化後の屈折率が 1.25 ~ 1.45 である請求項 1 ~ 6 のいずれか記載のコーティング材料。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか記載のコーティング材料が透明基材上の少なくとも一方の表面に形成されている光学物品。

【請求項 9】

透明基材の少なくとも一方の表面に、屈折率 1.5 ~ 2.0 で表面抵抗が 1×10^{-2} (/) 以下である層が形成され、当該層の表面に請求項 1 ~ 7 のいずれか記載のコーティング材料が形成されている光学物品。

【請求項 10】

透明基材の少なくとも一方の表面に近赤外線吸収層および / または染料を含有する層が形成されている請求項 8 または 9 記載の光学物品。